

浜田林業部トピックス(4月号)

TOPICS 1

鳥獣保護管理員を委嘱しました！

・西部農林水産振興センター所長から委嘱状を交付

4月16日（火）に浜田合同庁舎で、鳥獣保護管理員の委嘱式を行い、西部農林水産振興センター所長から委嘱状を交付しました。

令和6年度は、鳥獣保護管理員として江津、浜田地域の各担当エリア別に6名の方に務めていただきます。

・鳥獣保護管理員とは？

鳥獣保護管理員とは、担当の地域に精通し、さらにパトロール業務を行うにあたり必要な知識・技量を有し、かつ鳥獣の保護管理に対し熱意を持っている方に対して、西部農林水産振興センター所長が委嘱するものです。

1年を通して、鳥獣保護区等の管理や捕獲に関する指導・取締り、生息状況等調査、普及啓発など、鳥獣の保護管理を適切に遂行するための業務を地域住民との間に立ちながら行っていただきます。

・活動に関する会議の開催

委嘱式の後、会議を開催し、鳥獣保護管理員の服務規程や島根県の鳥獣の生息状況や被害の現状、課題、島根県としての対策方針について確認をしました。鳥獣保護管理員からの積極的な発言があり、情報交換をする良い機会となりました。

今後も鳥獣保護管理員の皆様と情報交換をしながら、迅速かつ正確に地域の状況を把握し、引き続き地域の鳥獣保護管理を進めていきます。



所長から委嘱状を交付



R6年度の鳥獣保護管理員のメンバー
(中央はセンター所長)



浜田林業部トピックス(6月号)



TOPICS
1

江津工業高等学校で林業学習を行いました！

6月6日（木）に、江津工業高等学校3年生13名、江津高等学校3年生5名、島根中央高等学校3年生4名の計22名が林業学習を行いました。島根県では高校生に林業や農林大学校への興味・関心を持ってもらうため、高校生を対象に林業学習の場を設けています。

当日は初めに森林・林業・木材に関する基礎知識について学び、その後、積み木づくりを体験しました。

今回の林業学習の開催は清和養護学校から「本校の生徒が安全に遊ぶことができ、手触りも優しい木材の積み木を作ってほしい」と江津工業高等学校へ依頼があったことがきっかけでした。高校生が森林・林業のことを知り、積み木づくりでは材料に間伐材等を用いることで環境問題についても考えることができたことで、とても良い学びの場となりました。

今後も林業学習を継続して行うことで、県内の高校生が木材に触れ、木材の学習、林業に関心を持つことを期待しています。



森林・林業の説明



清和養護学校とのオンライン談話



積み木づくり

しまねの林業に興味があるなら→

島根の山は動く!
水がけ!
君のやる気!

ネルソンの
林業体験動画
特別公開中!

学生 & 就業者 募集中!!

まずは 技術・資格を
身につける!!

今すぐ働く!!

島根県林業 職員として働く!!

島根県立農林大学校林業科
TEL 0854-76-2100
〒690-8400 島根県松江市東町1-200

島根県林業労働力確保支援センター
TEL 0852-32-0253
〒690-8478 島根県松江市東町1-200

島根県農林水産部林業課
TEL 0852-22-5104
〒690-8501 島根県松江市東町1-200

浜田林業部トピックス(7月号)

TOPICS 1

原木椎茸活着点検をおこないました！

7月26日（金）に、生産者7名、JAしまね、日本きのこセンター、種菌メーカーと浜田地域の生産者のホダ場を巡回し、原木椎茸の活着点検をおこないました。

活着点検は、植菌した原木の木口や一部を割った断面から菌糸の伸び具合を確認し、今後のホダ場の管理方法等を決める大切な作業です。

当日は、シイタケ菌の活着状況とホダ場内の日当たりや風通し等の環境を確認し、今後の暑さ対策や害菌対策等について、活発な意見交換がおこなわれました。

近年は、温暖化の影響で夏場の高温障害や病虫害発生危険性が高まっており、これまで以上に細やかなホダ場の管理が求められています。

浜田地域において、今後も県内の一大産地として、生産技術の向上による質の高い乾椎茸の生産がおこなわれることを期待しています。

〔活着点検の様子〕



ホダ場内の様子



枝葉等による伏せ込みの様子



木口断面の菌糸紋



原木を割って菌糸の伸び具合を確認

浜田林業部トピックス(8月号)

TOPICS 1

コンテナ苗生産の巡回指導を実施しました！

8月6日（火）にコンテナ苗生産の巡回指導を行いました。

巡回時には、苗木の高さや根の状態といった生長状況や、コンテナ培土の水分量・温度・日射などの環境のほか、病虫害被害が発生していないかを確認します。

特に夏場は病虫害被害や高温障害などが発生しやすいため、早期発見に努めるとともに、薬剤散布等による被害の予防や防除対策の迅速な実施が重要です。

当日は、春に播種した苗木の高さが25cm程度となっており、大きな病虫害被害もなく、順調に生長していることが確認できました。

今年の秋から来年の春の出荷に向けて、引き続き定期的な巡回指導を続けていきます。

今後も生産者の皆さまと連携し、良質で安定したコンテナ苗生産が行われるよう全力でサポートしていきます。



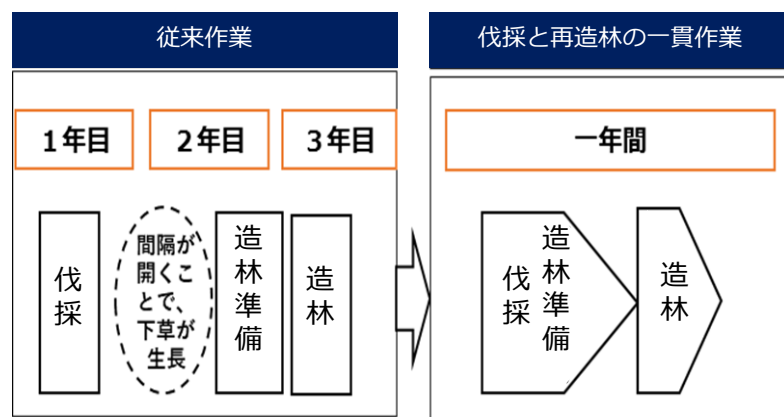
ハウス内の生育状況（R5秋播種分）



苗木の生育状況確認

コンテナ苗について

コンテナ苗とは、樹脂製の特殊な栽培用コンテナで育成され、培土と根が一体化した「根鉢」を持つ苗木です。根がむき出しの従来の裸苗と比べ、根鉢がついていることで乾燥に強く、根付きも良いため、時期を問わず植栽をすることができます。植栽時期を調整しやすいことから、伐採後、下草が生い茂る前に連続して植栽することができ、再生林の低コスト化に大いに貢献します。





浜田林業部トピックス(10月号)



TOPICS
1

江津工業高等学校で林業学習を行いました！

10月16日（水）に、江津工業高等学校1年生34名が林業学習を行いました。島根県では高校生に林業や農林大学校への興味・関心を持ってもらうため、林業学習の場を設けています。

当日は初めに日本有数の合板工場である、島根合板株式会社の浜田針葉樹工場を見学しました。本工場では、伐採現場で生産された丸太がどのように合板に加工され、利用されているのかを学びました。

続いて、森林・林業についての講義を受けたり、DVDを視聴し理解を深めた後、浜田市金城町内の森林で、間伐作業やチェーンソーでの丸太切り、ロープワークを体験しました。間伐体験では立木の伐倒の際、その迫力に大きな歓声が上がり、チェーンソーやロープワーク体験では、真剣なまなざしで作業に集中していました。

今後も林業学習を継続して行い、県内の高校生が森林や木材に親しむ機会を作ること、林業への関心が深まり、ひいては将来の職業選択において、林業が選択肢の一つとなることを期待しています。



合板工場の見学



間伐体験



チェーンソー体験



ロープワーク体験

浜田林業部トピックス(11月号)

TOPICS 1

一貫作業研修を開催しました

11月20日(水)に江津市内で、伐採者と造林者等を対象に、再造林の低コスト化の取組の一つである一貫作業をテーマに研修会を開催しました。

伐採者と造林者が連携し一貫作業を行うことで、再造林の低コスト化が期待できます。

午前中は座学を行い、「伐採者と造林者の連携による伐採と再造林等のガイドライン」の解説、地拵え用レーキ等の事例紹介を行いました。その後、参加者同士でグループに分かれ、一貫作業の取組状況、課題・改善点等について意見交換を行いました。

午後からは事例紹介した地拵え用レーキの現地見学を実施しました。レーキの構造や特徴について実機を用いて説明を行った後、レーキを用いた機械地拵え作業の見学・操作体験をしました。

研修後のアンケートでは『他事業体の事例が参考になった』『意見交換が有意義だった』『レーキを使ってみたい』等の感想がありました。

今回の研修が伐採者と造林者との連携強化に繋がり、円滑な一貫作業が行われることを期待しています。

〔研修会風景〕



ガイドラインの解説・事例紹介



意見交換会



地拵え用レーキの説明



機械地拵えの見学

浜田高等学校が農林大学校林業科を見学！ 浜田水産高等学校が植樹体験！

【浜田高等学校】

11月14日（木）に浜田高等学校（定時制）の2年生12名が飯南町にある島根県立農林大学校 飯南キャンパスの見学を行いました。初めに県職員から島根県の森林、林業、農林大学校の説明を受けたのち、農林大学校林業科の学生と意見交換をしたり、丸太切りや高性能林業機械の操作を体験しました。参加した生徒から「林業機械の操作は難しいが楽しかった。」「農林大学生から色々な話を聞くことができた。進路の参考にしたい。」等の感想が挙がり、林業等への関心が高まったことがうかがえました。



農林大学生との意見交換



高性能林業機械操作体験

【浜田水産高等学校】

11月14日（木）に浜田水産高校の3年生25名が、11月20日（水）には同校1年生23名が浜田市内にある柿木山国有林において植樹体験を行いました。こちらも初めに県職員から島根県の森林、林業、農林大学校の説明を受けたのち、樹冠ネットワーク（※）の皆さんや国有林の森林官の指導の下、ヤマザクラの植樹や丸太切りを体験しました。海での活動には慣れている生徒も山では勝手が違うようで、始めは道具の扱いに四苦八苦していましたが、慣れてくると友人同士で協力しながら、楽しそうに作業をしていました。

（※）樹冠ネットワーク

森と上手に付き合ってきた昔の日本人の智慧をもう一度学び、暮らしを見つめなおす運動をしているグループ。島根県西部・江の川流域を中心に活動し、2013年以降は子供や地域住民に森林教室を開催。（ポータルサイト 島根いきいき広場より抜粋）



丸太切り体験



ヤマザクラ植樹

今後も林業学習を継続して行い、県内の高校生が森林や木材に親しむ機会をすることで、林業への関心が深まり、ひいては将来の職業選択において、林業が選択肢の一つとなることを期待しています。

【林業に魅力を感じて石央森林組合へ】

スペイン出身のセンテノ・ホアン・カルロスさん(54歳)は、9月下旬から石央森林組合の現場作業従事者として勤務されています。カルロスさんは、奥様のご実家がある江津市に近い浜田市にお住まいで、地元町内会の竹林整備活動に参加されたことがきっかけで林業に興味を持たれたそうです。ご近所の方の紹介で、石央森林組合に就職されましたが、いつも明るく、ユーモアのあるカルロスさんは、すぐに森林組合の人気者になりました。

【チェーンソー作業について学ぶ】

石央森林組合から当センターに対して「近々、カルロスさんにチェーンソー作業の講習(※伐木等の業務に係る特別教育)を受講してもらう予定だが、まだ、十分に日本語ができないので、事前に指導してほしい。」との依頼がありました。

このため、11月5日(火)の午後、石央森林組合を訪問して、チェーンソーの各部の名称、メンテナンス、エンジンの始動方法などについて説明するとともに、ソーチェンの目立てや丸太を使ったチェーンソーワークなどを実習してもらいました。

カルロスさんは、チェーンソーの構造や伐木のメカニズムなどについて、非常に理解が早く、感心するほどでしたが、実技となるとやはり簡単ではないようで、「チェーンソー作業はアートのように繊細で難しい。もっと練習が必要だ。」とおっしゃっていました。

カルロスさんは、よく冗談を言って周囲の人を笑わせる明るい人柄であるだけでなく、仕事に対しては真面目で熱心な方だという印象を持ちました。しっかり練習をされて、早く立派な「林業マン」として現場でご活躍されることを期待します。

※伐木等の業務に係る特別教育

事業者は、チェーンソーを用いて行う立木の伐木、かかり木の処理又は造材の業務に労働者を就かせるときは、安全又は衛生のための特別な教育をしなければならないことが労働安全衛生規則等で義務付けられています。この「伐木等の業務に係る特別教育」は、外部事業者が主催する講習に従業員を参加させることが一般的です。



カルロスさんを囲んで

左から石央森林組合の前田さん、蔵野さん、カルロスさん(中央)、当センター職員



丸太の玉切りの練習

写真提供：石央森林組合



浜田林業部トピックス(12月号)



TOPICS
1

アシストスーツ体験会が開催されました！

12月10日（火）に、林業現場作業の負担軽減に貢献するアシストスーツ体験会が開催されました。本体験会は、労働環境改善による林業就業者の確保及び定着強化を目的として、江の川下流域林業活性化センター及び浜田地方農林振興協議会が共催しました。

当日は、全国の森林組合・林業事業体で導入実績のある株式会社イノフィス社製のアシストスーツ3種類について、同社営業担当者による製品説明や試着体験会が行われました。参加者は、アシストスーツを装着した状態で中腰姿勢を維持したり、刈払機やチェーンソーを操作して、効果を確かめていました。

参加者からは「気になっていたアシストスーツを体験出来て良かった」、「林業の現場作業で一定期間使用して、効果を検証してみたい」といった感想がありました。体験会終了後には早速アシストスーツの購入や長期リースの相談があり、関心が高まったことがうかがえました。

林業就業者の確保、定着強化は、林業事業体共通の課題です。今後も関係機関と連携し、課題解決に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。



営業担当者による製品説明の様子



試着体験会の様子



浜田林業部トピックス(1月号)



TOPICS
1

浜高生が林業をテーマに課題研究に取り組みました！

1月22日（水）に、浜田高校2年生3名が課題研究のため林業学習を行いました。浜田高校では、生徒が自ら興味のあるテーマに取り組む“課題研究”の時間を設けています。今回の林業学習は「若者に林業をもっと知ってもらうためにはどうしたら良いかをテーマにして、林業PR動画作成に取り組みたい。」という高校生からの要望を受け、当センターがコーディネートしたものです。

高校生が林業体験や林業従事者へのインタビューと現場の撮影を希望したため、石央森林組合に協力いただき、育苗・植栽体験、伐倒・造材作業見学、林業機械操作体験などをしてもらいました。高校生は体験に合わせて、森林組合職員に「なぜ、林業を仕事として選んだのか？」、「やりがいを感じる時はどんな時か？」など質問をしていました。

高校生は「林業のイメージががらりと変わった。」や「色々な体験が出来てとても良かった。」など感想を話し、PR動画のイメージを膨らませていました。動画は今年3月に完成予定で今から楽しみです。

今後も、高校生に林業への関心や就業意欲を高めてもらえるよう、積極的に現場の見学や作業体験の機会を提供していきたいと考えています。



育苗体験



チェーンソー作業体験



林業機械の操作体験



植栽体験

浜田林業部トピックス(3月号)



TOPICS 1

若手林業就業者の定着強化に向けた研修会が開催されました！

3月11日（火）に、若手林業就業者の定着強化に向けた研修会が開催されました。本研修会は、林業事業体の経営者や現場指導者の方を対象に、若手の育成方法について学んでもらうことを目的として、江の川下流流域林業活性化センターが開催しました。

当日は、島根県林業労働力確保支援センターの高橋伴武氏に「若い担い手とのコミュニケーションのあり方について考える」というテーマで、若手との良好な人間関係の構築や成長を促す育成方法等について講演いただきました。

参加者からは「コミュニケーションやコーチング指導の大事さが理解できた」、「若手と価値観のギャップを埋めていきたい」といった前向きな感想がありました。一方、「相手を理解しようとして距離を詰める」とハラスメントと思われぬか心配」、「若手の顔色ばかり窺う指導者にならないか」などの感想もあり、若手との付き合い方に難しさを感じている方も多いことが窺え、今回の研修会は若手の指導に関して改めて考える良い機会になったと思いました。

林業就業者の確保、定着強化は、林業事業体共通の課題です。今後も関係機関と連携し、課題解決に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。



講演会の様子

浜田商業高等学校で林業学習を行いました！

3月18日（火）に、浜田商業高等学校1年生64名が林業学習を行いました。島根県では高校生に林業や農林大学校への興味・関心を持ってもらうため、林業学習の場を設けています。

当日は、島根県の森林・林業に関する講義や森林組合の仕事について説明を受けた後、VRチェンソーで木の伐倒の疑似体験やドローンの操作体験をしたり、林業ボードゲーム「FOREST BALANCE GAME」を使って森林経営について学びました。高校生からは「体験活動・ゲームどれも楽しかった。」「林業のことを全く知らなかったが、体験活動を通して仕事のイメージが出来た。」「林業は男性の仕事だと思っていたが、女性もいることを知れて良かった」といった感想があり、楽しみながら森林・林業について学ぶことが出来ました。

今後も林業学習を継続して行い、県内の高校生が森林や木材に親しむ機会を作ることで、林業への関心が深まり、ひいては将来の職業選択において、林業が選択肢の一つとなることを期待しています。



石央森林組合の仕事紹介



森林調査用ドローン操作体験



VRチェンソー体験

チェンソーを持ってポーズ！
※エンジンはかけていません